

平成 28 年度 シラバス

1	名 称	大学間交流セミナーin 只見				
2	計 画 者	所属	福島大学 人間発達文化学類	職名	教授	
		氏名	谷 雅泰			
3	協力する教員	①	所属	福島大学 人間発達文化学類	職名	准教授
			氏名	阿内 春生		
		②	所属	福島大学 人間発達文化学類	職名	准教授
			氏名	坂本 篤史		
4	対象となる学生	学 年	1・2年生			
		専攻分野等	教員・保育士志望の学生			
5	目的とねらい	教員・保育士志望の学生は地方のなかでも都市部の出身者であることが多く、過疎地域に赴任してはじめてその実態に触れることになるケースも多いと思われる。そこで、過疎地域のひとつとして自然に恵まれ、人々のつながりも濃い只見町をフィールドに、学校や保育施設を訪問し、また子どもたちや教育関係者、地域住民とふれあいながら教員・保育士になることの意味を再確認する。また、他大学のおなじ志をもつ学生との交流を行う。				
6	具体的な計画	実施時期	内 容			
		11月～12月	募集開始、参加希望者の顔合わせと打ち合わせ（各大学）			
		1月	本取り組みに参加する他大学学生同士の交流			
		2月	只見町の保育所、小中学校への参観、新任教員との交流			
		3月	成果報告会での発表			
7	内容と 期待される 学修成果		内 容	期待される学修成果	Step	
		基本的な姿勢	人口減少等の課題に向き合う現地への訪問	地域の課題に取り組む学校のあり方、教員のあり方について理解し、保育士、教員になることの意味を再確認する。	3	
		課題探究力	教育長の講話、現地住民との交流	地域の関係者の視点や現地での体験を基に当該地域について説明することができる。	3	
		課題解決力	只見町の保育所、小中学校への参観	地域の関係者の視点や現地での体験を基に課題解決のためのアイデアを出すことができる。	3	
		情報受信力 情報発信力	新任教員との交流会、参加レポートの執筆	実際の体験や感じたことを「情報」として記録しておくと共に、自分が学んだことや現地での成果を語ることができる。	3	
		つなぐ力 導く力	同じ志を持つ他大学の学生との交流	自身の身近な人や仲間と協働すると共に、目標達成のために指示されたことについて積極的に取り組むことができる。	3	
	目指す学修成果					
8	関連する科目	連携各校の教職関連科目				